

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 山口県 】

学校名【 山口市立大殿小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者	第6学年 全3クラス 93名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> • 体育科を専門とする教員養成系の地元大学生を、体育科の授業にボランティアとして招聘することで、児童にきめ細やかな対応をしていくとともに、運動や体力向上についての意欲を高める。 • 身近な大学生のボランティアから指導を受けることを通して、児童が自分の将来について、夢や希望をもつ。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> • 体育授業サポート 体育科の授業内において、器械運動では安全管理の役割や苦手な子へのアドバイス、補助などの役割を担っていただいた。また、陸上運動では、走り方や跳び方の基本、デモンストレーションを通じて、正しいフォームや走り方のコツなど、実技を交えて指導していただいた。 • 器械運動の補助  <p>組体操学習時において計5時間ほど、2～4名の大学生ボランティアが参加し、指導の補助を行った。</p>

・陸上運動の指導



市内の陸上大会に向けての練習では、担任ではなかなか見せることができない、力強い走り方、跳び方を間近で見ることができ、歓声があがっていた。

6 主な成果

合計4名、のべ12日間のボランティアに参加頂いた。
 ・器械運動では、特に苦手意識をもっている児童に寄り添っていただき、安全面などに気を使いながら、上手にできるコツを教えたり、補助をして正しい動きへ導いたり等、児童の意欲の継続につながった。
 ・陸上運動では、全員参加の市内陸上大会の1週間前ということもあり、児童一人ひとりが真剣に指導を受けていた。児童の感想からは、『跳び方のコツやスタートの仕方など、具体的によく分かった。』『うまく跳べるイメージがわいた。』『自分もあの大学生の先生のように速く走りたい。』など、意欲や憧れが強くなったことがうかがえた。
 ・大学生からは、『子どもたちの反応がうれしかった。』『将来、教員になって教えているイメージがわいた。』等の感想をいただいた。

7 実践において工夫した点
(事業の特色)

・ボランティアに授業前に自己紹介してもらうなど、児童へ周知することによって、認知度や憧れの感情を高めていくこととした。
 ・児童の特性等について、事前に打ち合わせたり、事後に感想を聞いたりすることを通して、児童にとっても、大学生にとってもより良い体験になるようにした。

8 主な課題等

・大学生の授業との時間調整が大変であった。

9 来年度以降の実施予定

・大学側とのニーズが合致すれば、是非来年度も継続して取り組んでいきたい事業である。